

自由に参加できます！

第 54 回明大昆虫セミナー

ネオニコチノイド剤抵抗性ワタアブラムシの薬剤感受性と抵抗性メカニズムの解明

松浦 明 氏

(宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課)

日時：2019 年 1 月 16 日 (水) 17:10~18:40 頃

会場：明治大学 生田キャンパス 中央校舎 0307 教室

ワタアブラムシは、吸汁加害による生育障害やすす病を起こすとともに、多くの植物ウイルスを媒介することが知られている園芸作物の重要害虫です。本種は 1980 年代には複数の系統の殺虫剤に対して高度の抵抗性が確認されていましたが、1990 年代の各種ネオニコチノイド剤の登場により、約 20 年に渡って新たな殺虫剤に対する抵抗性は出現しませんでした。ところが 2012 年に宮崎県においてネオニコチノイド剤に対する抵抗性ワタアブラムシが突如出現し(国内初)、各種園芸作物において防除体系の崩壊が危惧されたところです。

今回のセミナーでは、本抵抗性ワタアブラムシのネオニコチノイド剤やその他殺虫剤に対する感受性や抵抗性メカニズムについて紹介して頂きます。また、普段見ることのできないワタアブラムシの有性世代の作出方法についても解説して頂きますので、皆さま奮ってご参集下さい。

問い合わせ： 農学部 応用昆虫学研究室 糸山 享